

期日前投票 最多1662万人

29日まで

総務省は30日、31日に投票開票を迎える衆院選の期日前投票（小選挙区）について、公示翌日の20日から29日までの10日間の中間状況を発表した。投票者は1662万4813人で、有権者（18日現在）の15・74%にあたる。投票者、割合ともに衆院選で期

日前投票が導入された2005年以降で最も高くなった。

除く39都道府県で投票者が増えた。

今回衆院選の開始10日間の状況を見ると、17年の前回衆院選と比べて投票者は97万9464人増（6・26%増）だった。愛知、三重、岡山、山口、徳島、大分、鹿児島、沖縄の8県を

総務省幹部は「新型コロナウイルスの感染対策として、密を避けるために期日前投票を選ぶ人が増えているのかもしれない」と話した。

今回の衆院選では最終的に2137万9977人が期日前投票をした。

前回の衆院選では最終的に2137万9977人が期日前投票をした。

衆院選投票率と期日前投票率の推移

期日前投票率は公示前日時点の有権者数をもとに算出

